

Beyond EXPO 2025 ～万博後の大阪の未来に向けて～

大阪府・大阪市

目次

1	新たな成長戦略の必要性	… 3
2	現在の取組状況	… 6
3	今後の進め方	… 9
4	スケジュール	… 19

1 新たな成長戦略の必要性

1 「次代をリードする大阪づくり」に向けて

- 大阪・関西万博は、「いのち」をテーマに世界の英知が結集し、iPS細胞技術を活用した「生きる心臓モデル」をはじめとした最先端技術を体感できる未来社会の実験場であるとともに、国内外から2,800万人もの方々が来阪し、大阪の魅力を世界に発信できる絶好の機会である。
- 万博開催都市である大阪としては、万博を一過性のイベントとせず、その後の持続的な成長・発展や府民・市民の暮らしの向上につなげていくことが必要であり、同時に、府民・市民の方々にも、万博後の大阪のまちや暮らしが、どのように変わっていくのかを示していかなければならない。
- この間、万博のテーマやコンセプトを踏まえ、大阪・関西が強みを発揮できる分野について、万博後のめざす姿を明らかにした「万博アクションプラン」を策定し、オール大阪で推進してきた。
- 今後、世界の課題解決に貢献し、未来社会を先導する大阪を実現させるためには、万博のコンセプトである「未来社会の実験場」を具体化した「将来の大阪の姿」を明確化するとともに、その実現に向けた指針となる「大阪の成長戦略」を策定し、万博後速やかにスタートさせていかななくてはならない。

**令和7年度(2025年度)に、万博レガシーを継承した新たな「成長戦略」を策定
あわせて、万博後の「将来の大阪の姿(当面2030年)」も示す**

1 成長戦略の対象範囲(案)

- 万博を契機とした「未来社会」の実現に向け、万博で披露された新技術等の社会実装や産業化をはじめ、大阪の強みやポテンシャルを活かしたヒト・モノ・投資を呼び込むチャレンジを後押しする取組みについて検討。
- 加えて、拠点形成やインフラなど「成長を支えるまちづくり・都市基盤」についても戦略の対象範囲とする。

【検討項目(案)】

◆万博アクションプランでの取組みの深化

(検討分野)

- ・健康医療(ライフサイエンス、次世代ヘルスケア)
- ・環境(カーボンニュートラルなど)
- ・観光・文化・おもてなし(多様な都市魅力の創出、移動の利便性等) など
- ・モビリティ(空飛ぶクルマ、自動運転など)
- ・スタートアップ

◆大阪経済を支える産業の底上げ・強化

(検討分野)

- ・ものづくり・観光産業等の生産性・付加価値向上、海外展開
- ・大阪の食(農業・水産業)の高度化 など

◆成長を支える人材の確保・育成

(検討分野)

- ・次世代成長産業をけん引する人材の確保、育成
- ・外国人材 など

◆成長を支えるまちづくり・都市基盤の整備

(検討分野)

- ・産業集積拠点の形成
- ・都市魅力の向上に資する都市空間の創出 など
- ・経済活動を支えるインフラネットワークの形成

2 現在の取組状況

2 現在の取組状況 — (1) 成長戦略の策定に向けて

▶ これまで万博APに基づいて進めてきた取組みの成果を活かし、万博後の更なる成長・発展に向けて、具体的道筋を明らかにするべく、次の2つの視点で検討を開始。

- ① 成長への道筋 : 大阪の強みや弱み、万博のインパクト、人口減少社会(生産年齢人口の減少)の影響などを分析し、中長期的な大阪のめざすべき方向性を検討
- ② 具体的取組 : ①の分析にあわせて、万博のインパクトを最大限に取込みつつ、持続的な成長を成し遂げるための具体的な取組を検討

■ 取組状況

・各部局とディスカッションを重ね、有識者とも意見交換を実施。

<有識者の主な意見>

- 万博後の成長に向けては、万博で披露された新技術やイノベーションを大阪で実装していくことが必要。
- 万博を契機として、インバウンドも含めた、ヒト・モノ・投資を呼び込み、定着させることが必要。
- 単なる都市開発ではなく、投資や人材を呼び込み、利便性を向上させるような仕掛けが必要。
- 人口減少を見据え、外国人材を含む労働力の確保や生産性の向上、投資拡大が重要。 など

2 現在の取組状況 — (2) 万博レガシーの継承に向けて

- ▶ 「万博のレガシー」については様々な意見がある中、府市において、万博のテーマやコンセプトも踏まえ、後世に何を引き継いでいくか、有識者の意見も聴取しながら検討を進めてきた。

■ 有識者ヒアリングより、大阪・関西万博でめざすべき「レガシー」とは？

○ 成長、イノベーションの創出

- ・ 「成長」というのは必要不可欠な柱。万博は、大阪・関西の成長だけではなく、世界規模での知識の交流、イノベーションに寄与する。

○ 社会課題の解決に貢献

- ・ 2025年は2050年のカーボンニュートラル達成に向けた重要な年。その年に「いのち」をテーマに開催する万博には、社会課題解決のための技術を世界に発信する責任がある。

○ チャレンジを喚起

- ・ ベンチャー育成エコシステムの確立のほか、万博後も、「新しいことはとにかく大阪で試す」という仕組みが必要。

- ▶ 一方、関西の経済界、自治体、近畿経済産業局等において、万博で提示された新技術・サービスの社会実装につながる仕組づくりに向け、検討をスタートさせる動きがある。
- ▶ 府市としても、この枠組みに参画し、ともにその実現をめざしていく。

方向性(案)

- 万博を機に芽吹いた革新的な技術等について、実装化・産業化を着実に推進し、「持続的な成長・発展」や、「社会課題の解決」につなげていけるよう、国をはじめ様々なステークホルダーと方向性を共有し、協調して取組みを進めていく。

3 今後の進め方

3 今後の進め方

- 万博後に速やかに大阪の成長に向けた取組みを実行に移すため、府市一体の「大阪の成長戦略」を作成する。
- 策定にあたっては、「万博レガシー」の継承や、「世界で存在感を発揮する国際都市・大阪」の実現も踏まえた戦略とする。戦略期間は10年(2035年)とし、5年後に見直しを行う。
- 成長戦略は、知事を本部長、市長を副本部長とする副首都推進本部(大阪府市)会議で議論を進める。
- 具体的には、「成長への道筋」(第一部)と「具体的取組」(第二部)の2つの視点から検討。あわせて、「将来の大阪の姿(当面2030年)」(第三部)についても示す。
- 全体の進捗管理を行うため、副首都推進局、府政策企画部、市政策企画室からなる「成長戦略検討チーム(仮)」を設置。

【成長への道筋】(第一部)

- ・経済情勢や「大阪の強み」等の分析を行い、副首都ビジョンの目標達成に向けた「成長への道筋」の内容を明らかにする。
- ・府政策企画部において検討。

【具体的取組】(第二部)

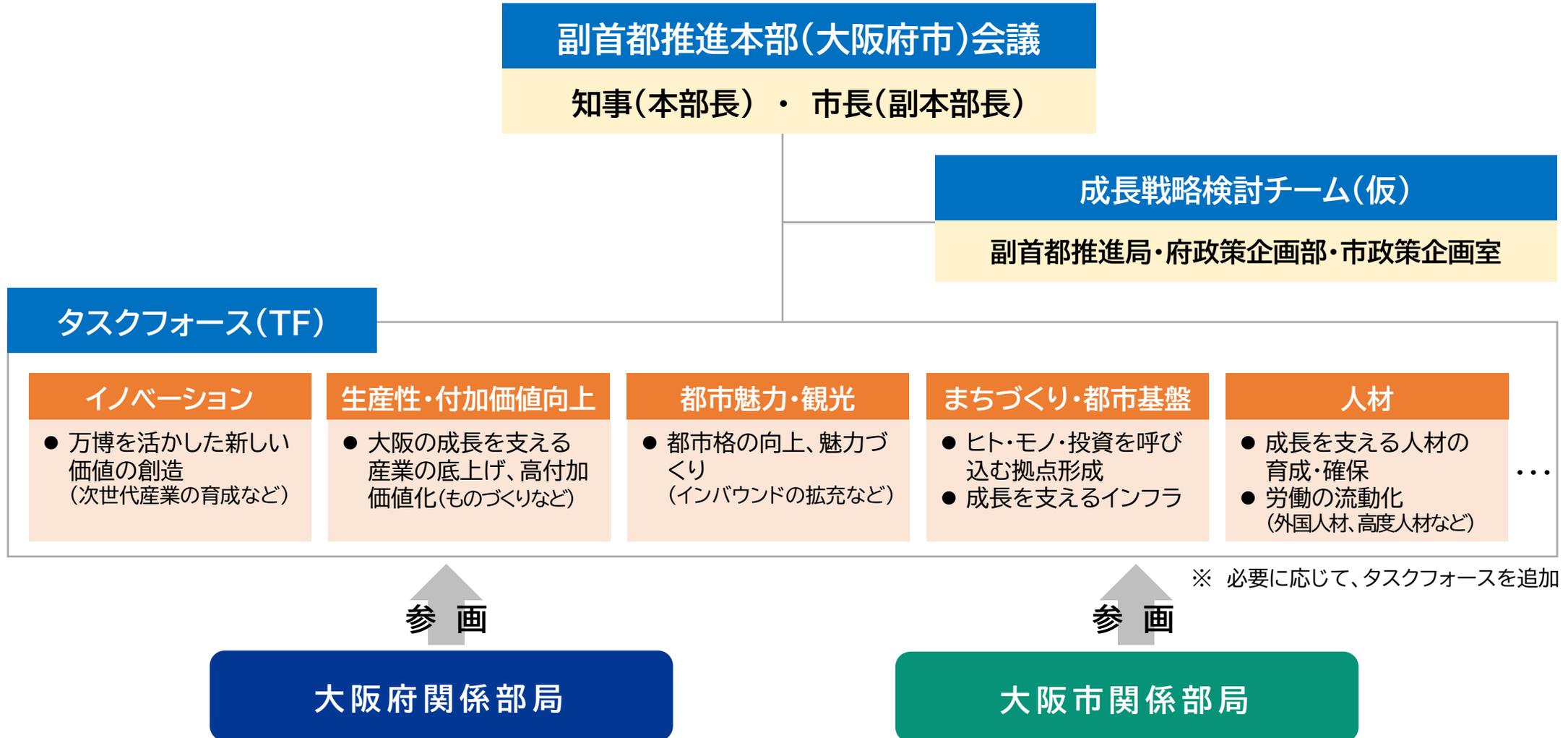
- ・万博後の大阪の成長に向けて、強力に進めるべき分野について、「府市合同タスクフォース」を設置し、民間等において取り組むべきものも含め、具体的施策を検討。

【将来の大阪の姿(仮)】(第三部)

- ・成長戦略を実行後の大阪の姿について、「産業」、「暮らし」、「都市格」などの観点から「将来の大阪の姿(当面2030年)」を取りまとめ。
- ・副首都推進局、府政策企画部を中心に検討

3 「具体的取組」の検討体制(案)

- ▶ 「府市合同タスクフォース(TF)」の全体調整や進捗管理を行う「成長戦略検討チーム(仮)」を副首都推進本部(大阪府市)会議の下に設置。



3 タスクフォース(TF)について(案)

【ミッション】

- 5年後(2030年)、10年後(2035年)を見据えた「将来の姿」を描く。
- 将来の姿の実現に向けた道筋(指針)となる「具体的な取組み(今後5年間)」を取りまとめる。

【体制】

- TFごとに、大阪府・大阪市の中核となる部局が参画。
- TF長の判断のもと、必要に応じて「部会」を設置。部会には、TFメンバー以外も随時参加。

【進め方】

- 原則、TFでの議論を中心とした運営を行い、「現状の到達点や課題」を整理した上で、「めざすべき方向性」や「将来の姿」について議論、認識の共有。
- なお、「めざすべき方向性」等の議論については、TFメンバー以外の部局にも意見を聴くなど、幅広く検討。
- めざすべき方向性等が定まった段階で、「具体的な取組み」や「ロードマップ」等の検討を行う。

3 各タスクフォースのミッション(イメージ)

- 各タスクフォースでの検討対象(案)や部会(例)は以下のとおり。詳細は、今後、各タスクフォースで議論して決定。

TF 1：イノベーション

～万博を活かした新技術の創造・育成～

めざすべき方向	◆ 万博のインパクトや大阪の強みを活かして、成長をけん引する次世代産業を育成
検討対象(案)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ライフサイエンス産業 ◆ ヘルスケア産業 ◆ カーボンニュートラル分野 ◆ スタートアップの育成 ◆ 空飛ぶクルマ、自動運転など新モビリティ
検討ポイント(案)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 万博で披露された新技術・イノベーションの実装 ◆ 国内外からの投資の呼び込み ◆ アカデミアの集積を活かした、企業や人材の集積

※ 上記内容については案であり、今後、TFにおいて議論

【部会】(例)

- ライフサイエンス部会 … 再生医療、未来医療の産業化、国際貢献の推進
- ヘルスケア部会 … 健康・健診データ等を活用した次世代ヘルスケアの推進
- カーボンニュートラル部会 … 水素、蓄電池など、脱炭素化に資する新技術の実装、産業化

TFで議論の後、ターゲットを絞った上で、必要な部会を設置

3 各タスクフォースのミッション(イメージ)

TF 2：生産性・付加価値向上

～大阪の成長を支える企業の経営力の向上・強化～

めざすべき方向	◆ これまで大阪の経済を支えてきた産業の生産性の向上や高付加価値化を推進。 持続可能な事業展開等により「成長する企業」へ転換
検討対象(案)	ものづくりをはじめとした府内の企業を対象に ◆ DXなどによる生産性向上 ◆ 商品・サービスの高付加価値化 ◆ 海外への販路やビジネスの拡大
検討ポイント(案)	◆ 賃金上昇への波及も見据えた高付加価値化の推進 ◆ 中小企業・中堅企業の成長に向けた支援 ◆ M&Aなどにより、足腰の強い産業への転換

※ 上記内容については案であり、今後、TFにおいて議論

【部会】(例)

(ターゲットを絞った)

- 生産性向上部会 …… 商品・サービスの高付加価値化、省力化、M&Aの推進
- 海外展開部会 …… 海外への販路拡大、国際ビジネスのさらなる拡大

TFで議論の後、ターゲットを絞った上で、
必要な部会を設置

3 各タスクフォースのミッション(イメージ)

TF 3：都市魅力・観光

～新たな観光資源の創出・育成による都市格の向上～

めざすべき方向	◆ インバウンドの増加を機に、観光産業の更なる充実強化に向けて、府域全域の観光拠点化、富裕層の取り込みやおもてなし対応の充実を図る
検討対象(案)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ エンタメ・ナイトカルチャー、文化・スポーツ・アートなど、新たな都市魅力の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーヨットなどクルージングの推進 ・ パブリックアート等の推進 ・ F1を含むモータースポーツの推進 ・ 中之島GATEや淀川大堰閘門の整備を活かした、舟運のエンタメ化 ・ 御堂筋の道路空間再編 ◆ 集客・周遊の仕掛けづくり
検討ポイント(案)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 海外富裕層の誘客、IRと連動した魅力創出 ◆ プラスワントリップや府域周遊の推進

※ 上記内容については案であり、今後、TFにおいて議論

3 各タスクフォースのミッション(イメージ)

TF 4：まちづくり・都市基盤

～大阪の成長を支えるまちづくり、インフラの整備～

めざすべき方向	◆ 経済・産業活動を支えるまちづくりの推進とインフラ整備
検討対象(案)	◆ うめきた、新大阪、森之宮、夢洲、中之島などの都心部の拠点形成 ◆ 千里中央、中百舌鳥、彩都などのまちづくり ◆ 淀川左岸線、リニア中央新幹線、北陸新幹線などの道路、鉄道等インフラ
検討ポイント(案)	◆ 産業集積・誘発に向けた仕掛けづくり ◆ みどり豊かな都市空間の創出と人中心のまちづくり ◆ 経済活動を支えるインフラネットワークの充実・強化 ◆ 都市のストック更新による市街地のリノベーション

【部会】(例)

- まちづくり部会 … 成長を支える拠点形成とまちづくり
- インフラ部会 … 道路、鉄道等の交通ネットワークの整備

※ 上記内容については案であり、今後、TFにおいて議論

TFで議論の後、ターゲットを絞った上で、必要な部会を設置

3 各タスクフォースのミッション(イメージ)

TF 5：人材

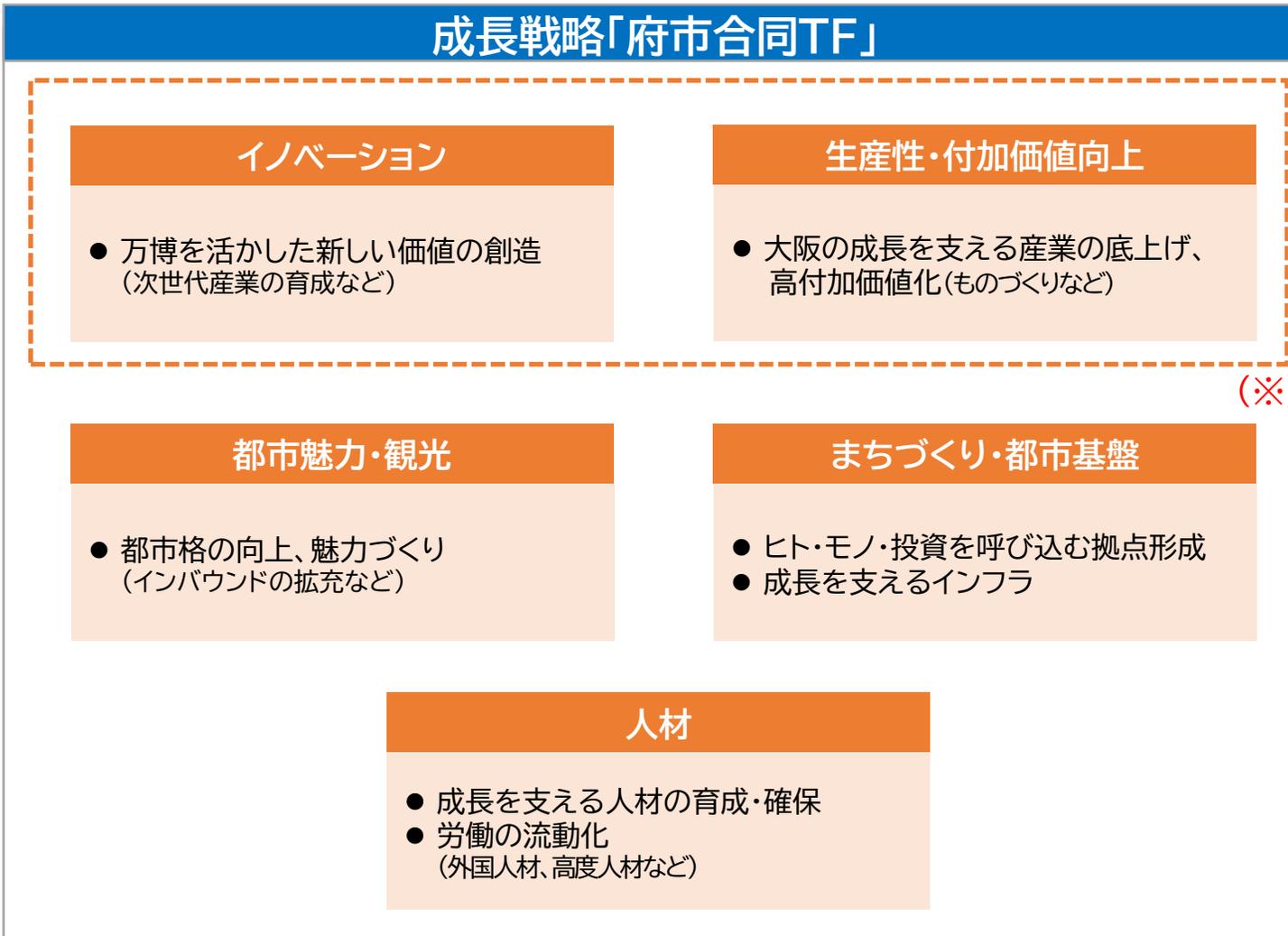
～成長を支える人材の育成・確保など～

めざすべき方向	◆ イノベーションを引き起こす専門人材、外国人材をはじめとした高度人材の確保、 労働の流動性の向上
検討対象(案)	◆ 技能を有する外国人材の受入 ◆ リカレント・リスキリングの促進 ◆ 高度人材の呼び込み
検討ポイント(案)	◆ 戦略的な外国人材の受入 ◆ 転職をキャリアアップと捉えた、流動化の推進 ◆ 成長分野の人材確保、育成 ◆ 高度人材の受入環境整備

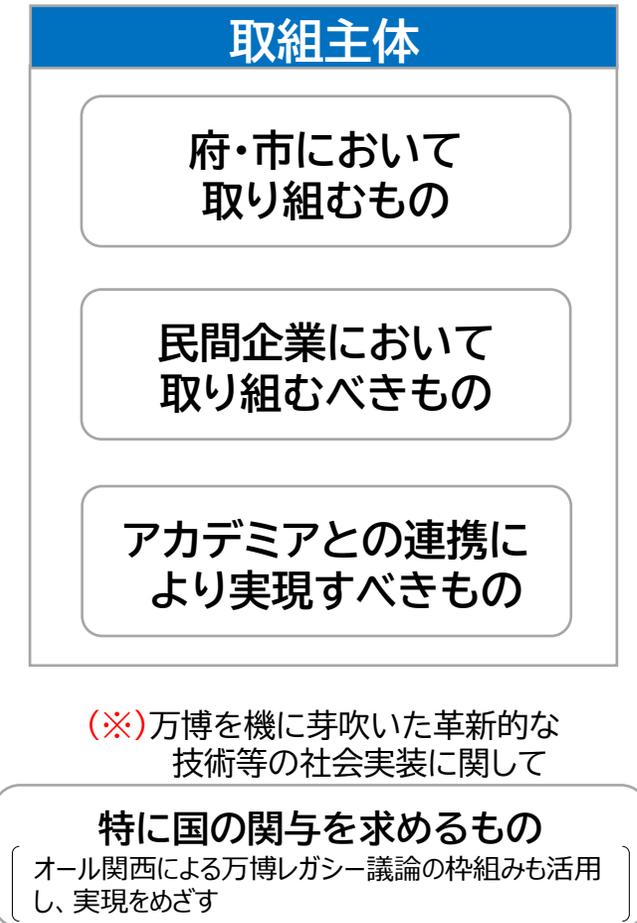
※ 上記内容については案であり、今後、TFにおいて議論

3 「具体的取組」の整理イメージ

- 「府市合同タスクフォース」において、「府・市」「民間」「アカデミア」「国」などの各主体において取り組むべきものを整理。
- そのうち、万博を機に芽吹いた革新的な技術等の社会実装に関して、特に国の関与を求める必要があるものについては、オール関西による万博レガシー議論の枠組みも活用し、その実現をめざしていく。



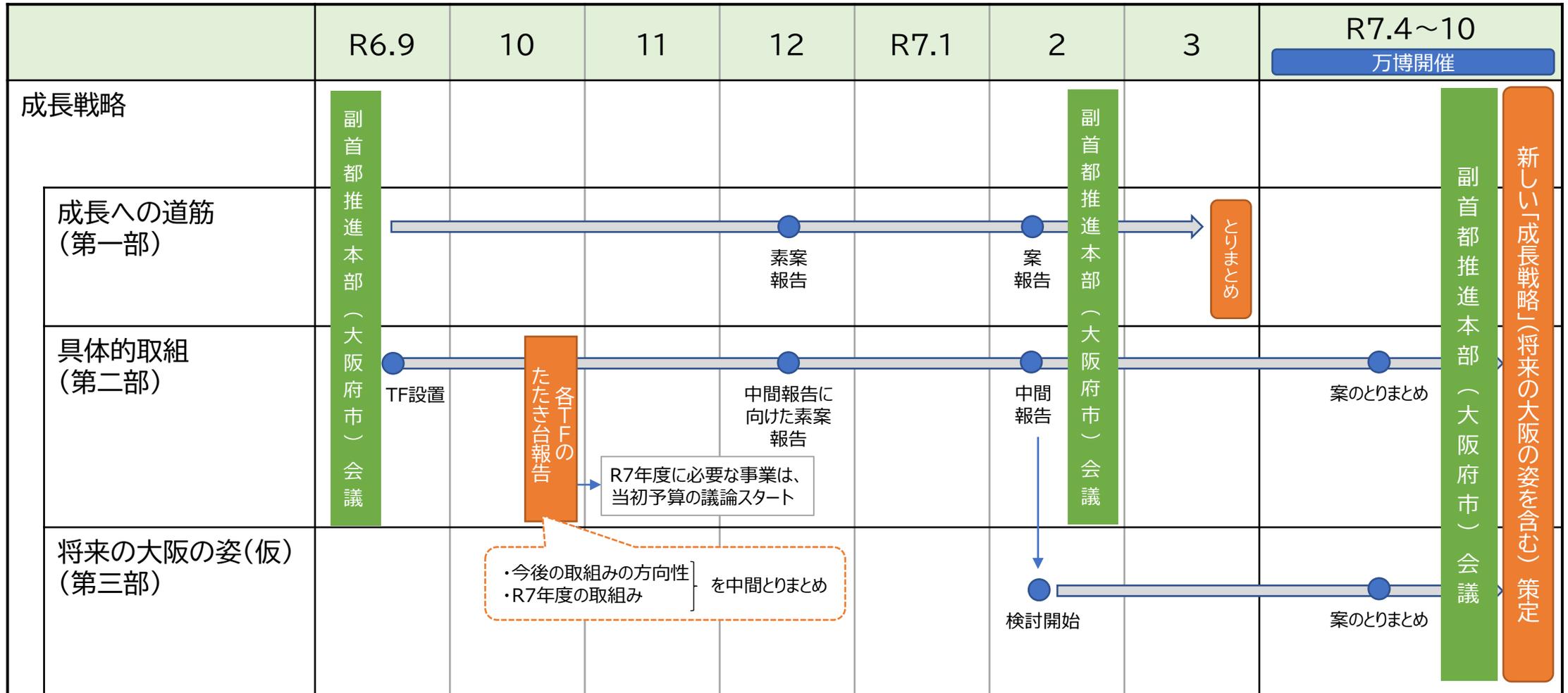
(具体的な取組みをタマ出し)



4 スケジュール

4 スケジュール

- R7年2月に各TFによる中間報告、R7夏頃に「成長戦略」を策定。万博終了後、速やかに実行に着手。
- 各TFの取組み状況については、適宜、成長戦略検討チーム(仮)へ報告<10月下旬・12月下旬には実施>



<参考> 成長戦略の策定に向けて(府市の役割分担)

- 次期・大阪の成長戦略の策定については、「大阪府及び大阪市における一体的な行政運営の推進に関する条例(2021年4月施行)」に基づき、大阪府が大阪市から事務委託を受けて戦略を策定する。
- 大阪市域は、大阪全体の成長を担う都心部、都市圏の核として非常に重要な部分であり、大阪の成長・発展に向けては、府市一体で広域的な視点から成長に関する戦略を検討する必要。
- 策定された戦略は、府市共通のビジョンとして位置付け、協力して戦略に基づく取組を実施していく。

【参考】大阪府・市の役割分担

「大阪の成長及び発展に関する基本的な方針に関する事務の委託に関する規約(2021年6月施行)」に基づき、大阪の成長戦略の策定事務の管理及び執行に関する手続を次の通り規定。

《第3条》

- 大阪府知事は、大阪市長の協力を得て、戦略等の案を作成する。
- 大阪府知事は、前項の戦略等の案について、副首都推進本部(大阪府市)会議において大阪市長と協議する。
- 大阪府知事は、大阪市における事業等の実施状況等の情報提供を受けて、戦略等の進捗管理を行う。

《第5条》

- 大阪府知事及び大阪市長は、委託事務の管理及び執行について、戦略等の策定から進捗管理に至るまでの連携調整を適切に図る。